

Shell Tellus S2 TX

シェル テラス S2 TX

- ・幅広い温度域に対応
- ・高引火点-可燃性液体類
- ・シリンダロッドのビビリ抑制
- ・部分合成油

シェル テラス S2 TX は、シェルグループ独自の合成油と高度に精製された基油に、厳選した各種添加剤をバランス良く配合した高性能油圧作動油です。優れた耐摩耗性、摩擦特性を有しているため、建設機械や産業機械など多くの油圧機器で安定稼働に貢献致します。また 250℃以上の引火点を有しているため消防法上の可燃性液体類に分類され、オイルの管理や取扱いが容易になります。

製品性能と特徴

・ 更油期間の延長

シェル テラス S2 TX は、シェルグループ独自の合成油と高度精製基油に独自の酸化防止剤の配合技術を組み合わせることにより、油の酸化劣化やスラッジ生成を最小限に抑えます。これにより更油期間の延長が期待できます。

・ スムースで正確な動作が可能

シェル テラス S2 TX は、優れた摩擦特性を有しているため、建設機械等のシリンダロッドの油膜切れによるスティックスリップ現象（ビビリ現象）や鳴きを防止します。

・ 広い温度領域で使用可能

シェル テラス S2 TX は、粘度指数が高いため、低温域から高温域まで安定した稼働が可能です。また油温が高い条件であっても油膜を保持できるため機械保護にも貢献できます。

・ 油圧機器の摩耗を抑制

シェル テラス S2 TX は、優れた潤滑性・耐摩耗性添加剤を採用したことにより、高負荷条件でも油圧ポンプや油圧機器部品の摩耗を最小限に抑える優れた耐摩耗性を有しています。

・ 各種機器の寿命延長

シェル テラス S2 TX には、優れた防錆・防食効果を持つ特殊な添加剤を採用しているため、水分や異物などの混入による錆・腐食の発生を防止します。また、万が一油圧系内に水が混入しても分離しやすい性能を有します。

シェル テラス S2 TX は、潤滑性能を妨げる泡の発生を抑えると共に、発生した泡を速やかに消す特性を有するため、ポンプを損傷から守ります。

・ 流動帯電の抑制

シェル テラス S2 TX は、電気伝導度が高いため、大流量でフィルタを通過させても帯電を抑えることができ、カーボンの生成や電子ノイズによる誤作動を防ぎます。

・ 可燃性液体類

シェル テラス S2 TX は、250℃以上の引火点を有し、消防法で可燃性液体類に分類されるため、管理や取扱いが容易になります。

シェル テラス S2 TX 代表性状*								
油種	項目	密度 (15℃) g/cm ³	引火点 (開放式) ℃	流動点 ℃	色	動粘度 mm ² /s		粘度 指数
						@40℃	@100℃	
	シェル テラス S2 TX 46**	0.855	258	−40.0	L 0.5	49	8.1	137
	シェル テラス S2 TX 68**	0.870	262	−35.0	0.5	68	10.3	137

*代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変更場合があります。(2017-07)

**シェル テラス S2 TX 46/68 は、可燃性液体類です。

シェル テラス S2 TX の販売荷姿 ： 200Lドラム 20L ペール缶

■使用上の留意点

- ・機械および潤滑油を長持ちさせるため、新油をタンクに張り込む前に必ず装置のフラッシングを行ない、内部及び潤滑箇所を清浄にするとともに、使用中も異物が混入しないように機器のメンテナンスに充分留意してください。
- ・また、他銘柄との混合使用は油の性能低下をきたすことが考えられますのでできるだけ避け、止むを得ない場合は、時期をみて早めに一度全量交換することをおすすめします。
- ・ご使用にあたっては、事前に安全データシート (SDS) をご覧ください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけでなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また、仕向国の法規等により輸入制限を受ける場合もありますので、製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルブカカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



取扱上の注意 ▼下記の注意事項に従ってお取扱ください。

＜＜取り扱い上の注意＞＞	
【安全対策】	・使用前にカタログ、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・取り扱う際は保護具を使用すること。
【応急措置】	・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 ・無理に吐かせないこと。 ・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗うこと。
【保管】	・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。 ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。
【廃棄】	・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 ・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。

Ver.1. 2017.11.1